

令和8年9月9日
午後2時00分発表

水路記念日企画パネル展を開催します

～海図で見る小樽港の今と昔～

第一管区海上保安本部では、9月12日の水路記念日にあわせて、9月16日（水）から28日（月）まで、小樽市総合博物館において、「海図で見る小樽港の今と昔」と題したパネル展を開催します。

9月12日は、明治4年(1871年)に、海上保安庁海洋情報部の前身である水路局が兵部省海軍部内へ開設されてから155周年となる水路記念日になります。

例年、第一管区海上保安本部海洋情報部では、水路記念日にあわせて企画展示を開催しております。今回は、「海図で見る小樽港の今と昔」と題して、歴代の海図から小樽の歴史を解説したパネルを展示します。また、近年の海洋情報業務を解説したパネルを展示し、小樽港の歴史遺産の普及啓発及び海上保安業務の理解促進を図ることを目的として開催します。

1 展示日時・場所

小樽市総合博物館本館エントランスホール（小樽市手宮1丁目3番6号）

9月16日（水）～28日（月） 午前9時30分～午後5時

（パネル展示会場は無料、24日（木）休館日）

2 主な展示物

- ・明治から現在までに刊行された海図及び解説パネル
- ・海洋情報業務を解説したパネル
- ・海図作製に関する映像

【参考】

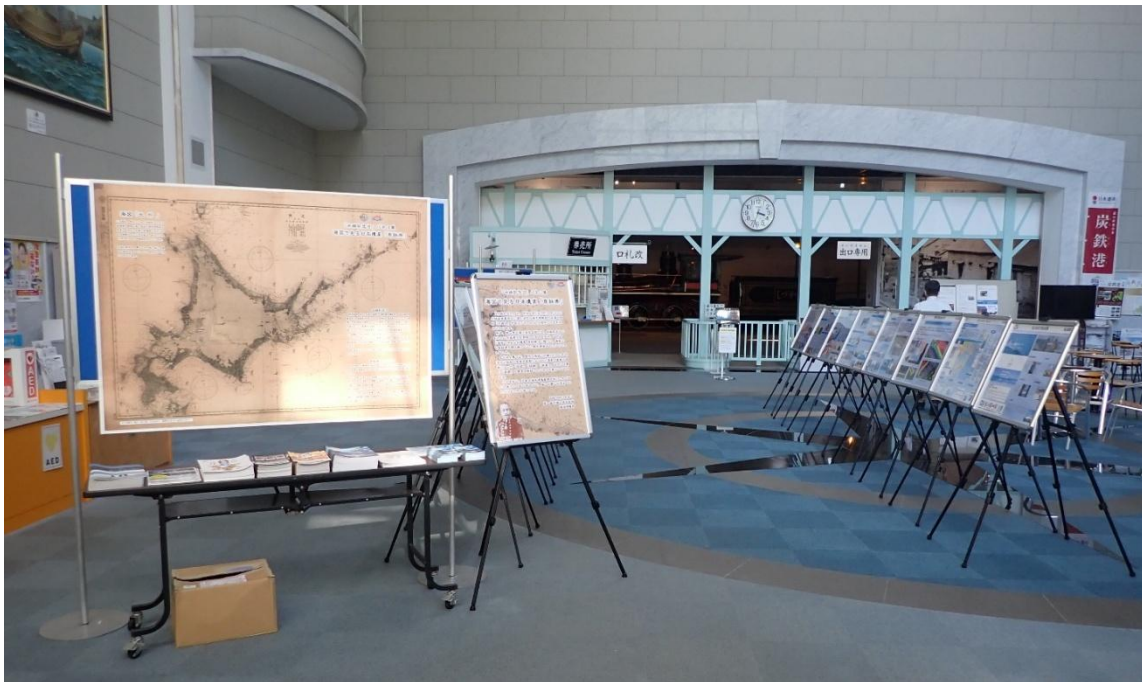
水路記念日について

明治初期、次々に日本に來航した諸外国の艦船が、日本沿岸の測量を行い、海図を作るなどして日本周辺の地を明らかにしていく事態に、明治政府は国防のみならず海運のために自ら測量して海図を作製することの重要性を認識し、明治4年(1871年)9月12日(旧暦7月28日)に兵部省海軍部に水路局(国の海洋調査機関)を設立し、組織的に我が国独自の海図の作製に取りかかりました。

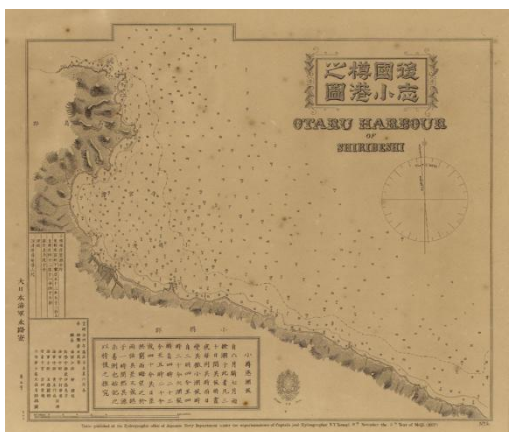
現在では、海上保安庁がその業務を引き継ぎ、航海安全・海洋権益保全等のための海洋調査のほか、海洋情報の管理・提供も行っています。

海上保安庁では、この水路局の誕生した9月12日を水路記念日としています。

■ 過去に開催したパネル展示の様子



■ 主な展示パネル



海図「小樽港」明治5年刊行



海洋情報業務の概要